

事業所名 ナーシングデイ終（療養通所介護）

運営推進会議等開催報告書

| | | |
|---|----|-----------------------|
| 開催日時 令和4年11月17日（木）14時00分～15時00分 | | |
| 参加者 | | 議題 |
| 利用者 | 0名 | 1. 事業所について |
| 利用者家族 | 0名 | 2. サービス提供・管理の状況 |
| 地域住民の代表者 | 2名 | 3. サービスの評価 |
| 市職員 | 1名 | 4. サービスへの要望・助言、質疑応答など |
| 地域包括支援センター職員 | 1名 | |
| 事業所 | 2名 | |
| 会 議 録 | | |
| <p>1. 事業所について 管理者より理念の紹介と思いを述べる。（理念は下記参照） 利用者・家族の人間性と価値観を大切にしてサービスを提供する。また関連機関や地域住民との連携から、地域のニーズに合った活動を計画的に行っていく予定である。</p> <p>【理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者・家族の人間性、価値観を尊重し、その人らしく生活が送れるよう支援する ● 人・物・環境に優しい訪問看護活動を心掛け、地域の人に信頼される事業所を目指す ● 保健・医療・福祉等の関連機関との連携を密にし、社会資源の有効活用を目指す ● 地域社会の一員として、特別に守られながら、健やかに 成長・発達をすることを支援する、ともに育つ場所である <p>2. サービス提供・管理の状況 以下 1)～4)の内容を事前に配布した資料と PowerPoint で説明する。</p> <p>1) 利用者数の推移：開設時 1名 ➡ 10月時点 5名</p> <p>2) 要介護認定の状況：要介護 4：1名、要介護 5：4名</p> <p>3) サービス内容</p> <p>① ケア内容：機械浴・シャワー浴、陰部洗浄などによる清潔ケア、浣腸や坐薬などによる排泄ケア、食事介助、トイレ誘導などの排泄介助 など</p> <p>② 医療処置の内容：傷の処置、胃瘻処置・管理、膀胱留置カテーテルの処置・管理、服薬介助 など</p> <p>③ リハビリの内容：機能訓練、呼吸訓練、日常生活動作訓練、コンディショニング、シーティング、福祉用具の選定 など</p> <p>④ レクリエーションの内容：野菜を育て日記をつける、地域活動での発表（打</p> | | |

合せ、準備を含む)、施設内のイベント内容を考え準備する など

- 4) その他：月 1 回事業所内研修を開催している。感染症対策は、マニュアルの作成、毎日職員の体調チェック、手指衛生の徹底などを行っている。

3. サービスの評価

開設の初年度であり、安全優先で業務やケア内容の確立ができています。今後もケアの質を高めながら利用者を受け入れ、医療ニーズが高くても住み慣れた地域で生活できるように活動していく。また地域に密着した事業所となるように、地域の健康ニーズを捉えながら計画的な地域活動を実施していくことを考える。

4. サービスへの要望・助言、質疑応答など

- 民生委員より、利用者数やサービス提供内容に対する、現在の職員の勤務体制について質問が出る。
➡事業所より、管理者含む看護師が常勤 2 名・非常勤が 1 名、介護職員 1 名、リハビリ 1 名で適宜併設施設から職員を呼ぶ体制であると説明が入る。
- 市職員より、療養通所介護は、本市では初めての事業所であると説明が入る。地域密着したサービス提供ができると良い。
- 事業所より、地域の特性について議題があがる。
地域包括支援センター職員より、介護予防や COVID-19 関連の相談（感染対策で地域サロンが中止になり通所介護を検討など）が増えている。民生委員より、水南連区は昔から地域サロンや健康講座などに、積極的に参加する住民が多い、また感染対策で使えない公民館が多いこともあり、ナースングデイ柵をサロンや講座などの場所に使えないかと提案があがる。
➡事業所より、地域に密着した事業所となるために『まちの保健室』のような場所となっていくことを考えている。そのために地域住民が気軽に入れるようにサロンや講座などは計画的に開催していきたい。また、地域サロンといった催し物の場所としても検討・調整していきたい。
- 事業所の特性として、看護師やリハビリスタッフが多く、特に言語聴覚士が在籍していることが挙げられる。介護予防や誤嚥予防の講座など、講師派遣としての役割も担える。ニーズに応じて依頼を受けていく。
- 次回会議の予定日は、令和 5 年 10 月または 11 月の第 3 木曜日とする。日時や場所、方法などは令和 5 年 9 月中旬までに事業所から連絡する。また、適宜会議を企画し、話し合う中で地域活動を活発的に行っていきたい意向が述べられる。

以上